



ことば遊び ～口遊びをしよう！～

お子さんが、しっかり食べたり、正しい発音で話したりできるのは、口をしっかり動かすことができるからです。口の使い方を身に付けることで、「食べる力」「話す力」へとつながっていきます。今回は、口の機能を育てる「口遊び」を紹介します。ぜひ、ご家族みなさんと、遊んでください。

☆ いろいろな口遊びがあるよ！

～口唇を使う遊び～

- ・シャボン玉
- ・かざぐるま
- ・吹き戻し
- ・吹き上げパイプ
- ・ゴム風船
- ・紙風船
- ・吹きゴマ



ゴム風船と紙風船では、息を出す力が違います。紙風船は息を強く出しすぎると、風船が破れてしまいます。口をしっかりすぼめて、息の出し方を調節しながら遊びましょう！

～舌を使う遊び～

- ・なめる（アイスなど）
- ・前に突き出す
- ・あっかんべー
- ・左右・上下に動かす
- ・頬を内側から押す
- ・歯を舐める
- ・舌を鳴らす



アイスや棒付きキャンデーを舐める時は、お菓子を動かさずに、舌を上下に動かすようにして舐めましょう！

～口の周りをを使う遊び～

- ・にらめっこ
- ・かおじゃんけん
- ・ぶくぶくうがい



口の周りや頬をしっかり動かします。手を使ってほぐすことも大事です！

これらの口遊びは、ことばの教室でも実際に行っています。今後の知恵袋でも詳しく紹介していきます。コロナ禍のマスク生活で、口を閉める力が不足しがちです。ぜひご家族みなさんと、口の機能を高めていきましょう！

子どもと一緒にあそびって？

子どもの遊びを考えてみましょう。子どもの学びは、耳からではなく経験から得ると3月の知恵袋に書きました。豊かな実体験を感情と共に経験する事が大事だとされます。学校ではアクティブ・ラーニングと呼ばれ重要視されています。

子どもは初めての事に次々と出会っていきます。分からないから分かるまで、出来るまでやってみようとして「試行錯誤」します。この過程を面白い、楽しいと思える事が、次々と意欲的に取り組む姿勢になります。

では大人の役割は？

この過程を一緒に楽しみましょう。「そう考えたのか」と子どもの思いや行為を受け止めてみると子どものやっている事が面白くみえてくるでしょう。

「これはどうだろう」と提案、モデルを示すのはその後で。大人も子どもと一緒に遊び、脳を活性化しませんか。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。

夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。